

東方小6年ペットボトルロケット製作

6月18日、市青年団協議会の会員ら6人と東方小6年15人がペットボトルロケット製作を行いました。小林の名水に関心を持ってもらいたいと同会が企画。発射実験も行い、ペットボトルロケットが飛ぶと「飛んだ」、「すごい」と歓声が上がっていました。



地域の繋がりで犯罪を防止

7月1日、第65回社会を明るくする運動強化月間が全国でスタートし、市役所で内閣総理大臣のメッセージ伝達式が行われました。小林地区保護司会窪田英二会長がメッセージを代読。非行や犯罪防止のために、地域のつながりが重要であることを再確認しました。



須木中生徒と高齢者が交流深める

7月5日、須木中1・3年生19人と地域の高齢者29人が、同校体育館でグラウンドゴルフを行いました。生徒らは、打ち方のアドバイスを受けながら高齢者と交流を深めました。同校3年生内山嘉希さんは「皆で盛り上がって楽しかったです」と話していました。



ホテル館で魚のつかみ取り大会開催

7月19日、魚のつかみ取り大会が出の山名水ホテル館で行われました。特設のプールに準備されたのは、約2,000匹のマスやヤマメ、コイ、ウナギなど。未就学児から小学生まで約299人が参加し、素早く動く魚を一生懸命に追いかけていました。



販売前から各販売所に行列ができるなど人気。写真は中央公民館。発売が始まる10時の時点で800人が列を作っていました

地域経済の活性化に期待 国交付金でプレミアム商品券

国の交付金を活用した「小林市地方創生応援!!プレミアム商品券」が、7月5日から市内11カ所で販売され、3日間で完売しました。商品券は千円券6枚つづりで1セット5千円。市の過去最高の規模で、総額4億2千万円分が販売されました。使用できる店舗は商工会議所ホームページに掲載。



6月定例会が終わると、起立して礼を行った参加者一同。議会議棟は昭和39年に建設され、51年間市議会が運営されてきました

議会棟の長い歴史に幕 10月から解体工事始まる

新庁舎建設に伴う議会棟解体のため、7月17日、議会事務局が第4別館（Tel.23-2475）に移転しました。解体工事は10月に始まる予定。この議会棟で開かれた最後の定例会（6月議会）の最終日7月2日には、淵上貞継議長が「長きにわたり、数々の議論を繰り広げてきた。仮議会棟での開催についてもご理解をいただきたい」とあいさつしました。

10年で陽光桜を50本寄贈 黒仁田晃さんに感謝状贈呈

6月30日、10年間で50本の陽光桜を市に寄贈した黒仁田晃さんに感謝状が贈られました。桜は、総合運動公園や緑ヶ丘公園などに植樹されています。黒仁田さんは「陽光桜は他の桜より開花が早い。きれいなピンク色をしているので見た人が春の訪れを感じてくれれば」と話していました。



感謝状を受け取る黒仁田さん。「毎年、4月29日（昭和の日）に合わせて贈っています。今後も続けていきたい」と話していました

小中学生1人あたり2万円 子育て支援商品券の配布開始

7月1日、「小林市地方創生応援!!子育て支援商品券」の配付が始まりました。小・中学校の児童・生徒1人あたり2万円の商品券を配布しました。同券を最初に受け取った徳丸直美さんは、「日用品を始め、子どものために大切に使っていきたい」と話していました。



商品券をまだ受け取っていない人は、学校教育課、須木庁舎住民生活課、野尻庁舎教育部野尻分室で配布を行っています



同連合会の食肉事業所としては全国7カ所目であり、今後牛肉の流通が盛んになることが期待されています

市内初の食肉事業所が開設 牛肉の流通の活性化に期待

6月11日、全国畜産農業協同組合連合会の食肉事業所が、市内で初めて小林食肉センター内に開所しました。この事業所は、肉用牛出荷者に売却証明書を発行する事務所。同連合会の白岩茂樹代表理事専務は「県内外の出荷者のみならず、全国からの出荷を期待したい」と話していました。



各園の年長児が合同で合唱。会場には、保護者ら約1000人が訪れ園児らの出し物が終わると会場は盛大な拍手に包まれていました

保育園と地域の絆深める 保育まつりで歌や踊り披露

6月18日、市内保育園の園児らが出し物を披露するなどして交流する「小林保育まつり（小林保育会主催）」が、文化会館で開催されました。市内21の認可保育園の園児や保育士ら約300人が歌や踊り、劇などを披露。仮屋俊昭会長は、「このまつりで保育園と地域との絆を深め、子育ての輪を広げていきたい」と話していました。